

知立市政理解深める 愛教大生ら市役所見学

愛知教育大(刈谷市)の二年生が、知立市の各部署の職員の話聞きながら市政への理解を深める授業が七月二十九日、知立市役所などであった。

成する「教育ガバナンスコース」に所属し、西尾圭一郎准教授(四)に教わっている十一人が参加した。

学生は企画政策課、生涯学習スポーツ課、子ども課などの職員から仕事の説明を受けた。議場も訪れて



「子どもたちが議場を見学する機会がありますか」と

議席に着き、電子表決を体験する大学生たち＝知立市議会議場で

質問。議会事務局の職員は「中学生が市幹部へ思いを提案する『子ども議会』を開催しています」と応じた。電子表決システムも体験し「大学の前期授業は原則遠隔授業だったが、得るものは多かったか」などをテーマに、ボタンを押して意思表示した。

真坂龍一郎さん(三〇)は「企画政策課の話聞き、各方面にアンテナを巡らせ

ていることや熱意が垣間見えた。自分の地元の自治体の政策の違いも知ることができて参考になった」と話した。

(神谷慶)